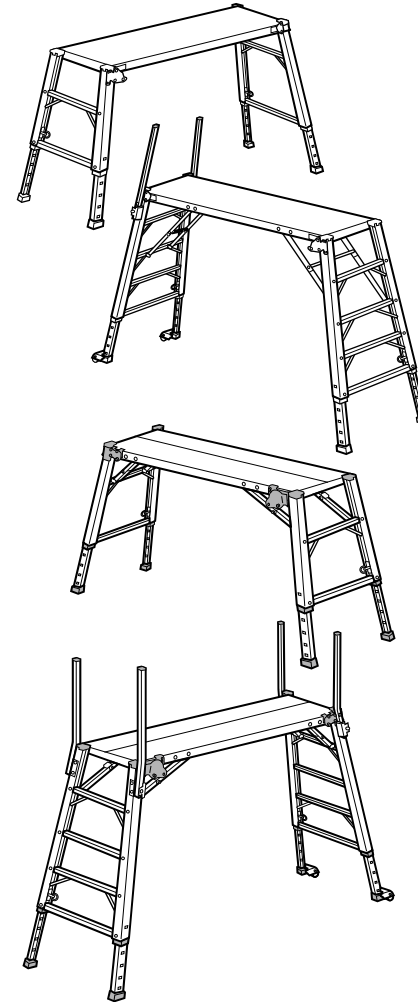


アルミニウム合金製 可搬式作業台

取扱説明書



DWG・DWJ型

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ず、この取扱説明書を**よくお読みいただき、事故が起こらないよう内容にしっかりと正しくお使いください。**

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ**大切に保存**してください。



- 作業台は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、作業台の安定した状態を確認してください。
- 作業台は、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してご使用ください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて	1
使用上の注意	1
各部のなまえ	3
点検表	5
操作方法	6
1.作業台にするとときたたみかた	6
2.スライド支柱の伸ばしかた・縮めかた	9
3.手掛り棒の使いかた	9
オプションパーツ	11
使用後のお手入れと保管のしかた	14

ピカ コーポレーション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く 9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <http://www.pica-corp.co.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

P14.01
718880201361

表示マークについて

取扱説明書や製品ラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△ 危険 記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△ 警告 記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

△ 注意 記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

〈絵表示について〉

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

可動部や回転部で手をはさまないよう注意

製品を操作するときに、可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを示します。

支柱の伸縮ロック忘れに注意

ロックされていないと、スライド支柱が縮み、製品が転倒し、破損や傷害事故の恐れがあることを示します。

使用上の注意

使用条件について

△ 警告 この製品は、主として建築物等の天井又は内壁面等の作業に使用する可搬式作業台です。作業台としての用途以外の使いかたをしないでください。

△ 警告 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

△ 警告 脚の継ぎ足しなど、作業台を加工、改造しないでください。

△ 警告 手掛り棒、手すりわく、連結足場板などは当社指定のオプションパーツを使用してください。

△ 注意 安全具を装着して、作業に適した服装で使用してください。

△ 注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
- 薬やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- その他、身体に異常を感じる時

△ 警告 お子様や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1.お手入れのしかた

作業台にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。
(掃除のしかた)

- 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- 油系の汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

△ 注意 クリーナーや洗剤を付けたままにしていると腐食の原因になります。

2.保管のしかた

- 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
- 作業台が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

△ 注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

オプションパーツ

オプションパーツ対応表

型式	DWG-10	DWG-15	DWG-15A	DWG-18A	DWJ-96	DWJ-150
手掛り棒	○※1	○	標準装備	標準装備	×	○
キャスター	○	○	○	標準装備	○	○
アウトリガー	○	○	○	○	○	○
タラップ	○	○	○	○	○	○
手すりわく	○	○	○	○	○	○
連結足場板	○	○	○	○	○	○
踏み外し防止キャップ	○	○	○	○	○	○

※1・・・ DWG-10型には、2本のみ取付可能です。

但し、手掛り棒の取付部とスライド支柱が干渉するため、スライド支柱を最後まで縮める事が出来なくなります。また、手掛り棒が脚枠よりも長い場合、設置状態での回転収納が出来ません。

使用するときについて

⚠危険 この製品は、電気を通しますので配電線に触れると感電の恐れがあります。

⚠注意 引きずったり、投げたり、叩いたり、乱暴に扱わないでください。

⚠警告 使う前に必ず次の点検を行い、異常のないことを確認してください。異常のある場合は、使用しないで修理など必要な措置を行ってください。

- 作業台全体に異常な曲がり、ねじれ、へこみ、割れがないこと。
- 天板の回転金具、踏ざんにガタツキがないこと。
- 天板と支柱枠のロック装置が確実に機能すること。
- 支柱のロック装置が確実に機能すること。
- 開き止めのロック装置が確実に機能すること。
- 手掛り棒のロック装置が確実に機能すること。

⚠注意 コンクリートなどが付着する恐れがある場合には、ベニヤ、シートなどで養生してください。

⚠注意 収納するときは不意に開かないように天板と支柱のロック装置が、収納位置で確実にロックされていることを確認してください。

⚠警告 設置するときは、天板が水平になるように設置してください。また、次のような場所には設置しないでください。転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい地面
- 傾斜している場所
- 人の出入り口やドアの前
- 足元や周囲がはっきりしない暗がり
- 凹凸がある場所
- 滑りやすい場所
- 雨風の影響を受ける場所

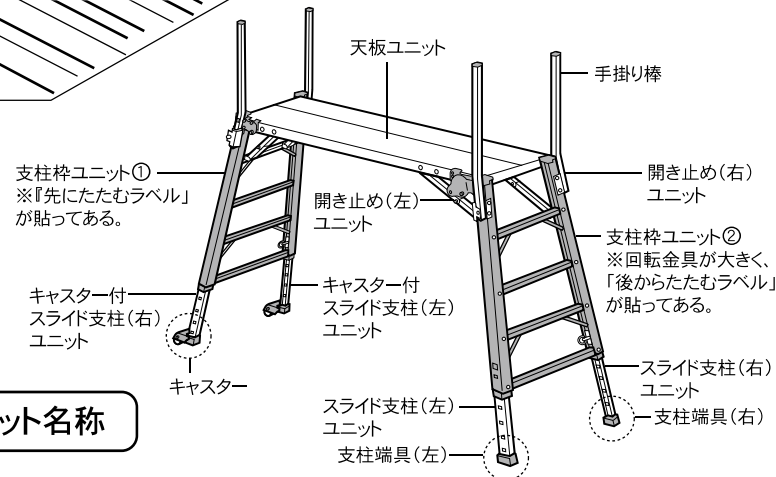
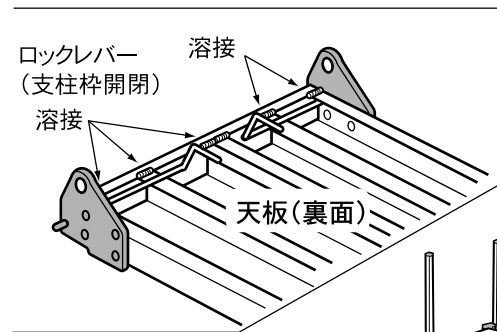
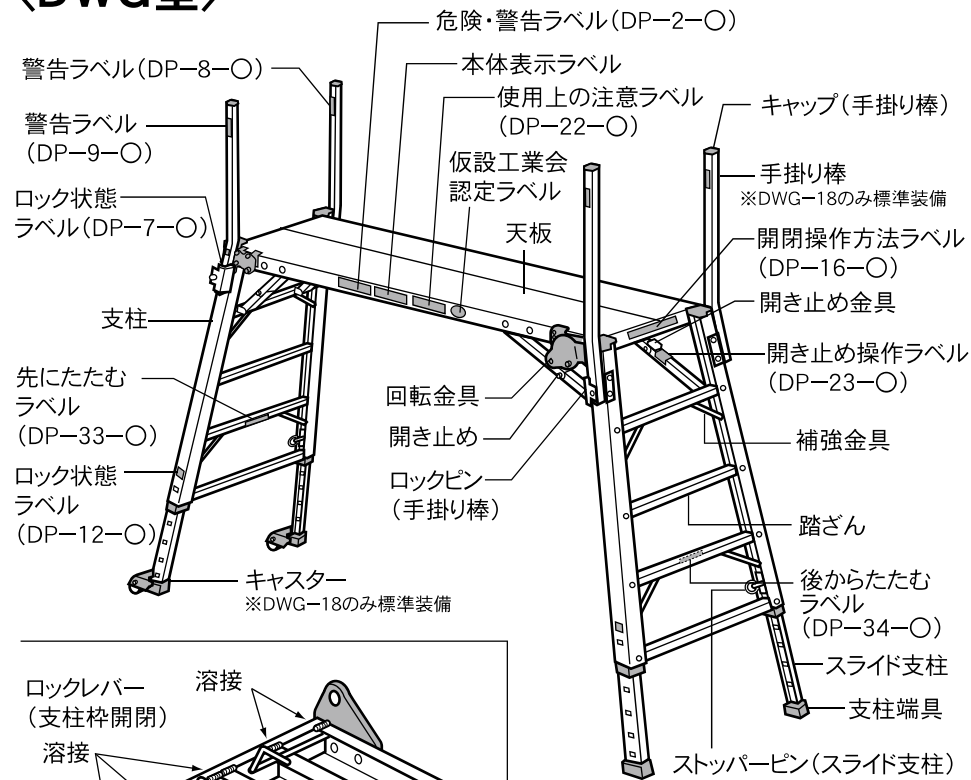
⚠警告 設置するときは、床の穴、開口部、段差に支柱がずれて落ちないように十分距離を置いてください。

⚠警告 作業するときは、次の内容を必ず守ってください。

- 各ロック装置が、確実に止まっているか確認すること。
- 天板の高さ1.5m以上で使用するときは、手掛り棒又は手すりわくを使用すること。
- 作業台を背にして昇り降りしないこと。
- 身体の安定が得られないような荷物を持って昇り降りしないこと。
- 作業台は慎重に昇り降りし、作業台の途中から飛び降りたりしないこと。
- 1台の作業台に同時に2人以上乗らないこと。
- 作業台の天板の上で脚立、架台、はしごなどを使用しないこと。
- 当社指定のオプションパーツ以外の足場板などの渡しをかけて使用しないこと。
- オプションパーツで連結されていない作業台への乗り移りはしないこと。
- 手掛り棒や手すりわくに寄りかかったり、過大な力を加えたりしないこと。
- 作業中は、常に足元を確認し、踏み外して転落しないように注意すること。
- 作業台から身体を乗り出したり、水平荷重をかけるような動作はしないこと。
- 人や荷を乗せたまま作業台を移動させたり、高さ調節しないこと。

各部のなまえ

〈DWG型〉



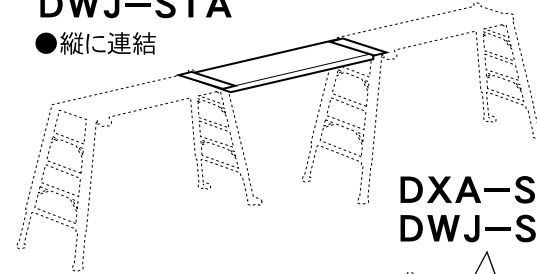
ユニット名称

連結足場板

●現場に合わせた作業ステージを実現

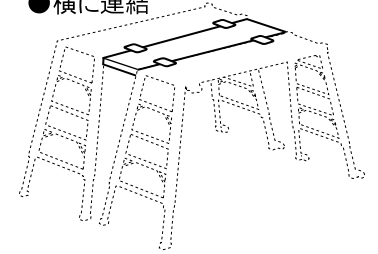
**DXA-STA
DWJ-STA**

●縦に連結



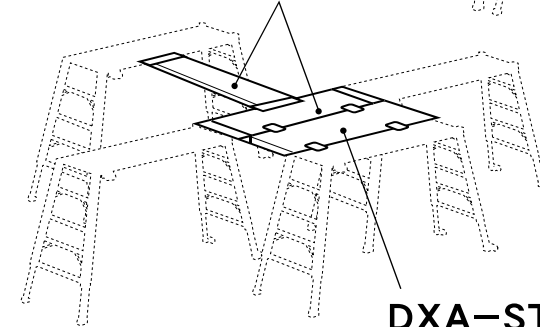
**DXA-STB
DWJ-STB**

●横に連結



**DXA-STA
DWJ-STA**

組合せ例



**DXA-STB
DWJ-STB**

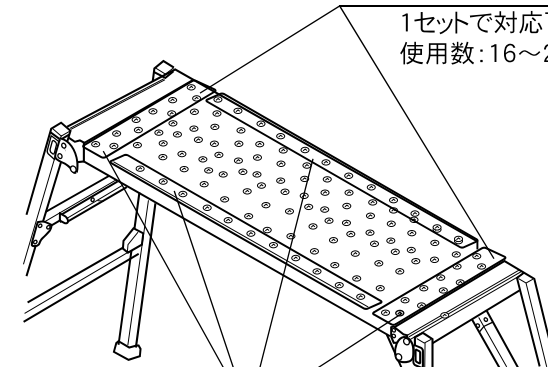
踏み外し防止キャップ

DXA-PE1



1セット: 22個入り

妻側に使用する場合
 1セットで対応可能
 使用数: 16~20個



妻側+桁側に使用する場合
 2セットで対応可能
 使用数: 36~44個

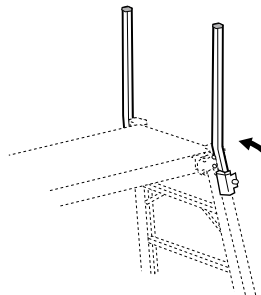
●足の裏で突起を感じて、転落事故の防止に

オプションパーツ

回転収納式手掛り棒

DWG-TE1
DWJ-TE1

- 昇降安全にサポート (2本1セット)

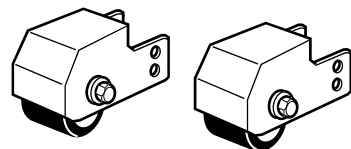


※DWG-15A・18Aは標準装備です。

キャスター

DWJ-HC

- スムーズな移動 (2個1セット)



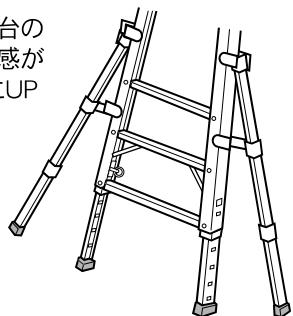
※DWG-18Aは標準装備です。

アウトリガー

DWJ-AU (1本)

DWJ-AUS (2本1セット)

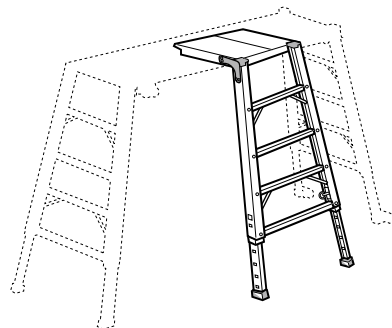
- 作業台の安定感がさらにUP



タラップ

DWG-SW
DWJ-SW

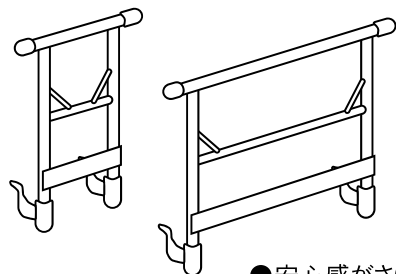
- 昇降口を増設、支柱伸縮機能付き



手すりわく

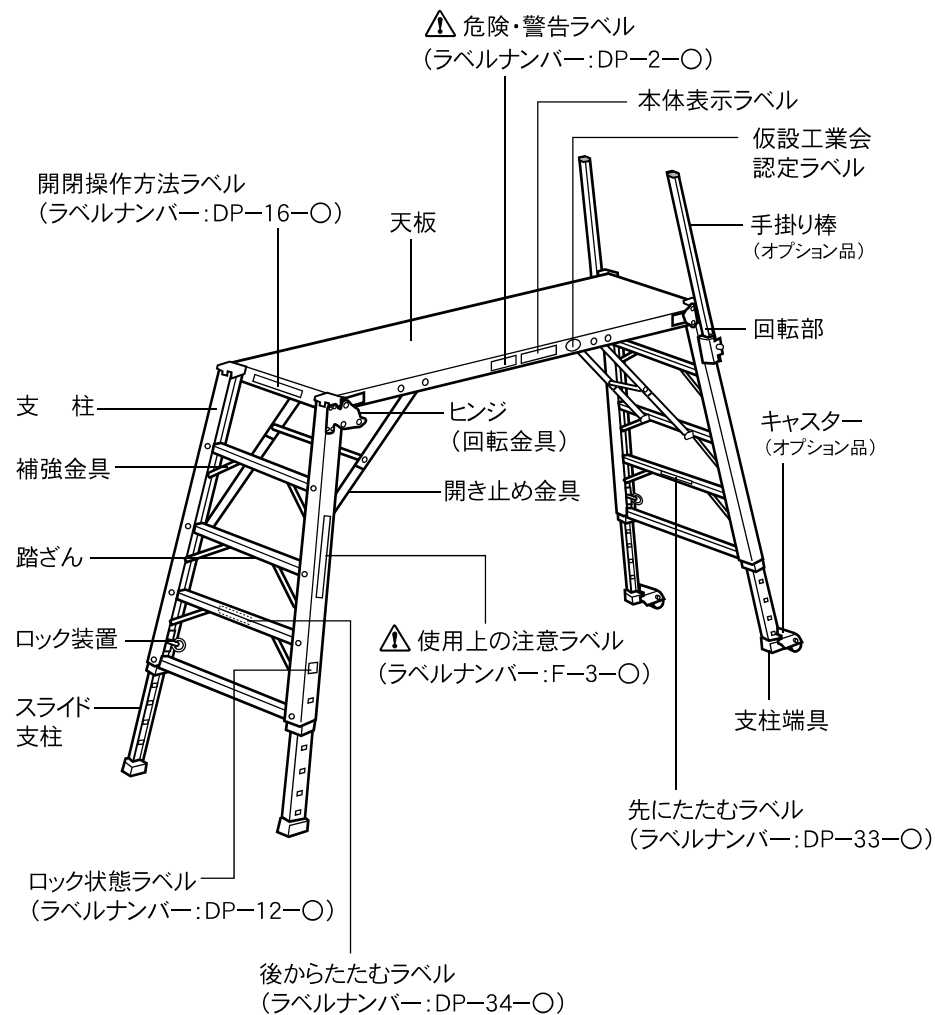
DWJ-TES(小)

DWG-TEL(大)



- 安心感がさらにUP爪先板付き

<DWJ型>



- 1.ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
- 2.ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。
- 3.ラベルナンバーの〇は、改訂ナンバーです。

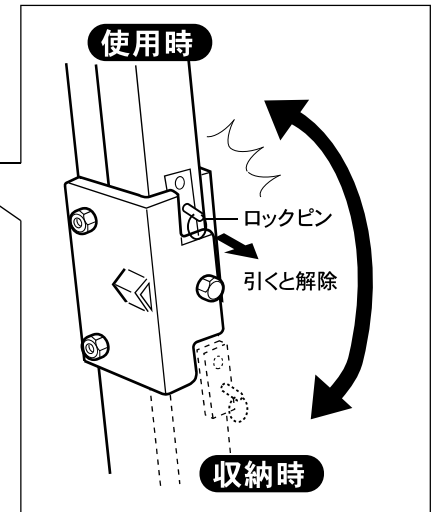
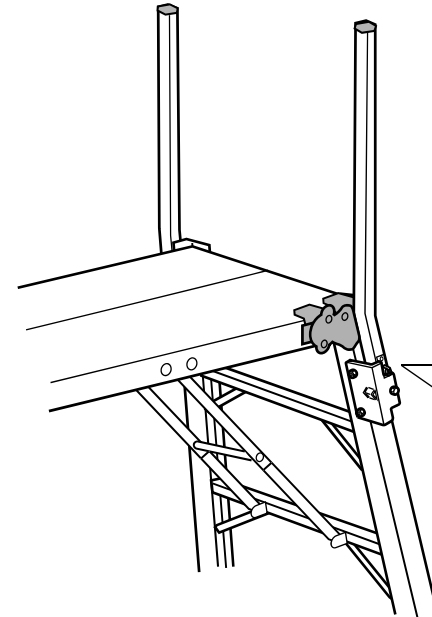
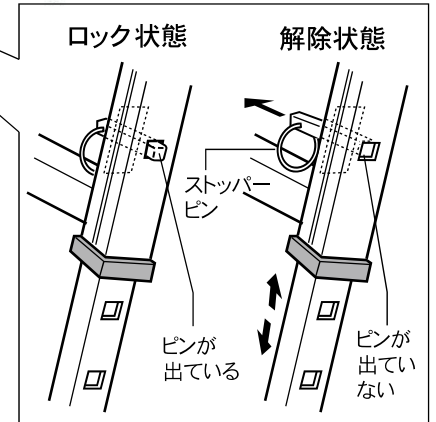
点検項目		日付					
		/	/	/	/	/	/
天板	天板に変形、破損はないか						
	溶接に割れはないか(裏面)						
	開閉のロック装置は正常か						
支柱・支柱	回転金具に変形、ガタつきはないか						
	支柱・踏ざんに変形、破損はないか						
	踏ざんのリベットは正常か						
	脚のロック装置は正常か						
	回転金具に変形、ガタつきはないか						
スライド支柱	開き止めの取付金具に変形、ガタつきはないか						
	頂上キャップの破損、脱落はないか						
	ピン穴は変形していないか						
手掛り棒	スムーズに伸縮できるか						
	支柱端具の破損、脱落はないか						
	キャスターは正常か						
開き止め	開き止め金具に変形、破損はないか						
	開き止めのロック装置は正常か						
	スムーズに開閉できるか						
全体	手掛り棒に変形、破損はないか						
	手掛り棒のロック装置は正常か						
	スムーズに回転できるか						
全体	キャップの脱落はないか						
	ボルト・ナットのゆるみ、脱落はないか						
	著しいサビはないか						
ラベルなどの表示は読み取れるか							

正常=○ 調整=△ 交換=×

日付	MEMO



脚部を持ち上げロックを解除し、スライド支柱を伸ばす



操作方法

2. スライド支柱の伸ばしかた・縮めかた

- ① ストッパーピンを引いてロックを解除し、スライド支柱の長さを調節してください。
- ② ストッパーピンを戻すとピンが角穴に入ってロックされます。必ずスライド支柱を上下させ、確実にロックされているか確認してください。

⚠ 注意

- 昇る前に、スライド支柱が縮まないか、最下段の踏ざんに足を軽く乗せて確認してください。
- スライド支柱を無理に引き伸ばしたり、いっぱいまで伸びた状態で強く引き伸ばさないでください。ロック装置に無理な力が掛かり、故障の原因になります。

3. 手掛り棒の使いかた

- ① ロックピンを引いてロックを解除し、手掛り棒を回転させてください。

⚠ 注意

- ロックピンがロックされていることを必ず確認してください。

操作方法

1. 作業台にするときとたたみかた

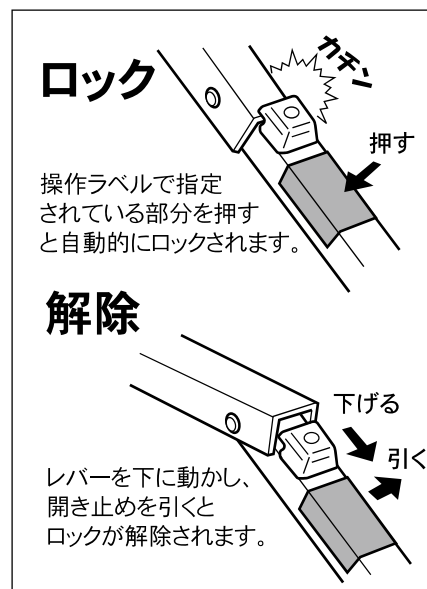
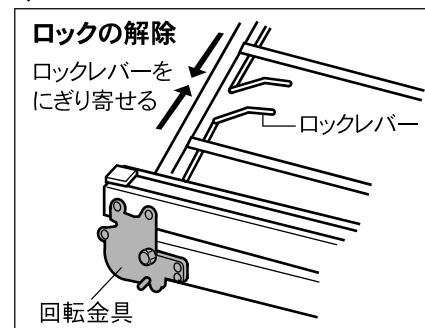
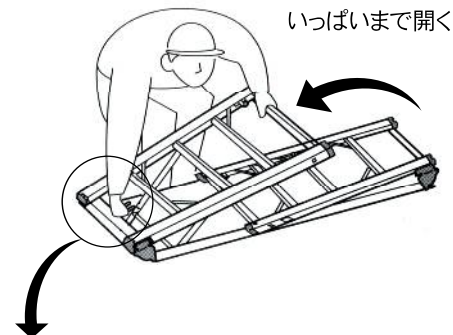
<DWG型>

<作業台にするとき>

- ① 折りたたんだ状態で天板を下側にして、天板両端にあるロックレバーをにぎり、回転金具のロックを解除しながら、支柱枠をいっぱいに広げてください。

※ロックレバーから手を離し、支柱枠をいっぱいまで広げると自動的にロックされます。

- ② 反対側の支柱枠も同じ要領で開いてください。
- ③ 作業台をゆっくり起こして使用状態にしてください。
- ④ 天板と支柱枠をつなぐ開き止めを押し、ロックしてください。
- ⑤ 完成された状態で、すべてのロックレバーが確実にロックされているか確認してください。



ひっくり返し、天板と支柱枠の開き止めをロックする



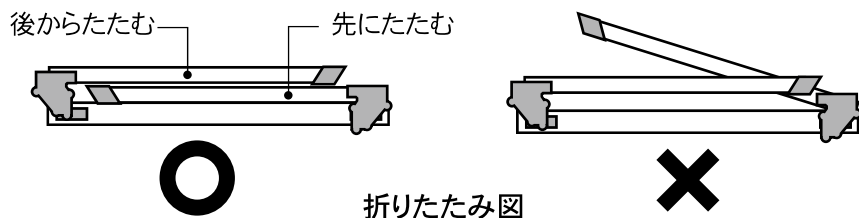
〈たたみかた〉

① 使用状態で天板と支柱枠をつなぐ開き止めを持ち上げてロックを解除してください。

※開き止めの解除は、図(6ページ参照)のように行ってください。

② 支柱枠を閉じる。

※支柱枠に貼ってある「先にたたむ」「後からたたむ」ラベルの順で行ってください。



⚠ 注意

- たたむときは、スライド支柱が縮んでいる状態で行ってください。
- 開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと、回転部で手をはさんだり、変形や破損の原因になります。



〈DWJ型〉

① 折りたたんだ状態で天板を下側にして、天板両端にあるロックレバーをにぎり、回転金具のロックを解除しながら、支柱枠をいっぱいまで広げてください。

※ロックレバーから手を離し、支柱枠をいっぱいまで広げると自動的にロックされます。

② 反対側の支柱枠も同じ要領で開いてください。

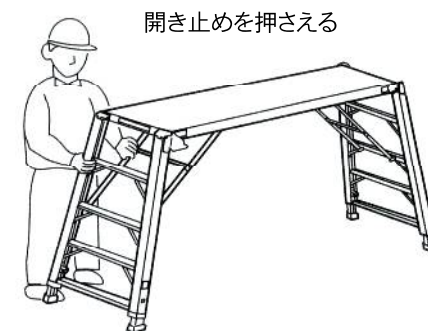
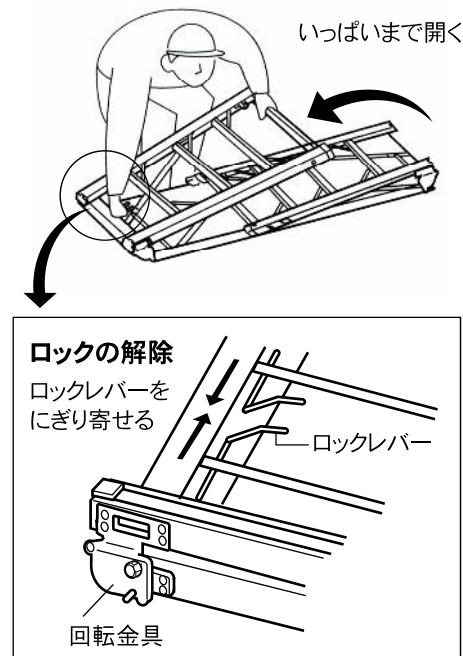
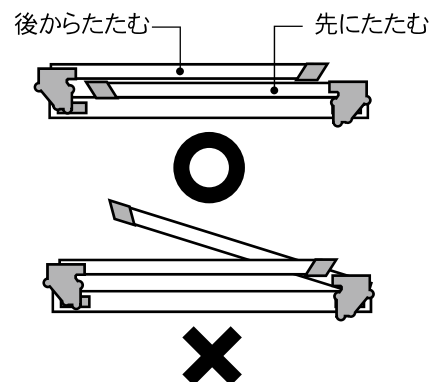
③ 作業台をゆっくり起こして使用状態にしてください。

④ 天板と支柱枠をつなぐ開き止めを押し、ロックしてください。

⑤ 完成された状態で、すべてのロックレバーが確実にロックされているか確認してください。

⑥ たたむときは、①～④の手順と逆を行ってください。

※支柱枠に貼ってある「先にたたむ」「後からたたむ」ラベルの順で行ってください。



⚠ 注意

- たたむときは、スライド支柱が縮んでいる状態で行ってください。
- 開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと、回転部で手をはさんだり、変形や破損の原因になります。

